

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用について

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を積極的に採用しています。

また、医薬品の供給が不安定な状況を踏まえて、医薬品の供給が不足等した場合は、治療計画の見直しを行う等適切に対応する体制を有しております。

医薬品の供給状況によって投与する薬剤を変更する可能性があること及び変更する場合には患者さんに説明いたします。
ご不明な点がございましたら、主治医又は薬剤師にお尋ねください。

もっと詳しく
知りたい場合は？



医師・薬剤師に、
お気軽にご相談ください。



ジェネリック医薬品は医療用医薬品ですから、病院や診療所の医師による処方せんが必要です。詳しくは、かかりつけの医師や薬局の薬剤師にご相談ください。

【お問い合わせ】

- 厚生労働省
TEL 03-5253-1111
- 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) (くすり相談窓口)
TEL 03-3506-9457
- 公益社団法人日本薬剤師会 (くすり相談窓口)
TEL 03-3353-2251
- 日本ジェネリック製薬協会
TEL 03-3279-1890
- 一般社団法人日本保険薬局協会
TEL 03-3243-1075
- 一般社団法人日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会
TEL 03-3438-1073
- NPO法人 ジェネリック医薬品協議会
TEL 0557-52-4886

●ジェネリック医薬品に関する情報は
厚生労働省 ジェネリック 検索

お薬をもらうすべての方にとってほしいお薬です。

**医薬品副作用
被害救済制度**

医薬品は正しく使っても、副作用の発生を避けられない場合があります。
そこで、医薬品（病院・診療所で処方されたもの、他、薬局等で購入したものも含みます。）を適正に使用したにもかかわらず、その副作用により入院治療が必要になるほどの重要な健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付を行う公的な制度が、医薬品副作用被害救済制度です。

●この制度に関する情報は
副作用救済 検索


独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 PMDA

ジェネリック医薬品の選択は、
自己負担の軽減だけでなく、医療費
全体の抑制にもつながります。

ジェネリック医薬品を
使ってみませんか！
厚生労働省も使用を推奨しています。



ジェネリック医薬品は、これまで使われてきたお薬の特許が切れた後に、同等の品質で製造販売される低価格のお薬です。

 厚生労働省

どのくらい
安い？



お薬の価格は5割程度、
中にはそれ以上
安くなる場合もあります。



新しい医薬品は開発に長い時間と多くの費用がかかりますが、ジェネリック医薬品は開発期間が短くて済むので、その分価格が安くなります。

※窓口でお支払いいただく患者負担金は、お薬の費用のほか、調剤料などが加わります。

効き目は
確か？



効き目はもちろん、
安全性も同等ですので、
安心して使うことができます。



ジェネリック医薬品は、これまで効き目や安全性が実証されてきたお薬と同等と確認された上で、製造、販売が認められています。

種類は
あるの？



さまざまな病気や
症状に対応して
います。



高血圧や高脂血症のお薬、糖尿病のお薬など、さまざまな病気や症状に対応しています。カプセル、錠剤、点眼剤など形態も豊富です。

※すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。